

「軽減税率が日本の将来に落す陰」

消費税の軽減税率が、1兆円もの巨額な税源を必要としながら税源根拠を示せずに、加工品を含み酒を除く全食品小売に対して適用されることが決まろうとしています。私はこれまで軽減税率についてはずっと反対して来ましたが、そのように書いて来ましたが、今回の決定について私は心の底から落胆し、政治が妥協の産物であることを感じ、いち国会議員であることの虚しさを感じました。

私が軽減税率に反対して来た第1の理由は金持ち減税になるということ。第2の理由は社会的事務コストが激増し、社会全体が高コスト化すること。第3の理由は消費税が骨抜きになり、必要最高税率が高くなること。第4に対象品目の線引きについて、今後ロビー活動と裁判を頻発させ、税制調査会始め社会の各般の効率を下げる

ことなどです。

小売大手のチェーンストア協会始め多くの業界団体が反対運動を展開してきました。特に食品スーパーを抱える団体は、軽減税率で恩恵を被るにもかかわらず、日本社会全体の将来を鑑みて反対して来ていました。賛成していた団体は、何故か新聞・出版業界と、農協でした。農協は利害団体として解る気がしますが、新聞業界は新聞を生活必需品として軽減対象品目にしようという今回の議論とかけ離れた思惑で賛成してしまいました。驚いたのはまだ議論も本格的に始まっていなかった去年の段階から、大分合同新聞社の役員が新聞の軽減税率適用署名を私の東京事務所まで求めに來られた事です。私は軽減税率そのものに反対でしたが、おそらく全国の新聞社が地元の全国会議員

に対して署名を求めたのだらうと思います。

軽減税率が金持ち優遇になる事は、イギリスを始め既に導入している国々のデータから明らかであり、かの国々は軽減税率を止めたいのに止められないジレンマに苦しんでいます。そんな国際的に愚策と認識されている税制を何故今日本が取り入れるのか？私は情けなくて仕方ありません。低所得者を助けるのなら、同じ1兆円を

使って大型現金給付すべきだと強く主張します。

今回の軽減税率の決定は、日本の将来に大きな陰を落すことになるのだらうと思います。だからこそ、私はこれからもその陰を取り払う努力を、いち国会議員として続けて行かねばならぬと心に誓います。

来年の参院選大分選挙区の
自民党公認候補に弁護士古庄 玄知氏。



公正・公平で思いやりあふれる政治。

こしょう
はるとも 古庄 玄知

自由民主党大分参議院選挙区第二支部長・弁護士

〈こしょうはるともプロフィール〉



昭和32年 12月23日 国東市安岐町にて生まれる
昭和48年 杵築市立杵築中学校卒業
昭和51年 大分県立杵築高等学校卒業
昭和55年 早稲田大学法学部卒業
昭和57年 司法試験合格
昭和60年 弁護士開業(大分県弁護士会)
平成20年 大分県弁護士会 会長

別府大学講師(非常勤)
大分朝日放送
「スーパーJチャンネルおおいた」コメンテーター
暴力追放大分県民会議相談委員
その他県や市町村の各種委員 など歴任
趣味 登山・短歌等 妻・娘2人 大分市在住

Facebook でも活動報告を行っています。(Facebook アドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員 穴見陽一 後援会 事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

